



長寿夫婦51組を顕彰

長年連れ添った夫婦を祝う「平成24年度つがる市福祉顕彰式」が8月30日、松の館で行われました。

今年は88歳到達者夫婦19組、ダイヤモンド婚夫婦（結婚60周年）7組、金婚夫婦（結婚50周年）25組が該当。福島市長は「皆さんが長年培ってこられた豊富な知識や経験がこれからますます必要となります。今後も地域のためにご指導お願いします」とあいさつし、顕彰状を手渡しました。

また、式典後のアトラクションではしげた保育園ともりた保育園の園児による踊りの披露が行われ、出席した夫婦らは笑顔で拍手を送っていました。



ダイヤモンド婚の顕彰状を受け取る山口唯一さん、フチエさん夫婦



キューティーブロンズ(右の2人)と一緒に佐野学芸員の説明を聞く参加者

縄文の暮らしに思いをはせて

「JOMON亀ヶ岡遺跡まつり&田小屋野貝塚ウォーク」が8月18日、しゃこちゃん広場を主会場に開催されました。

これはNPO法人つがる縄文の会（野呂隆昌理事長）が縄文遺跡群の世界遺産登録への気運を高めようと4年前から実施。田小屋野貝塚ウォークには市内外から参加した約80人が貝塚と遺跡を巡る約3キロのコースをお笑い芸人・キューティーブロンズと一緒に歩き、市教育委員会の佐野忠史学芸員による解説に耳を傾けました。

また、縄文人がアクセサリーとして使っていたというベンケイガイ製のブレスレットの製作体験も行われ、参加者は縄文時代の暮らしに思いをはせていました。

車力分屯基地に保坂基地司令が着任

航空自衛隊第21高射隊・車力分屯基地の中村泰三隊長兼基地司令が9月1日付けで離任となり、同日、新たに保坂光人2等空佐が基地司令として着任しました。

保坂司令は東京都出身で横田基地の航空総隊司令部防衛部防衛課から着任。9月4日、着任のあいさつに市役所を訪れ「青森県は初めてですが、自然が豊かでいいところ。誠実・共感・信頼を胸に任務に就くとともに、地域のイベントや祭りにも参加し地元との交流を深めていきたいです。時間を見つけて趣味の釣りも楽しみたい」と話していました。



福島市長に抱負を話す保坂司令(右)



白バイにまたがって記念撮影する園児たち

交通安全への意識高める

県交通安全母の会連合会（坂本ハルヒ会長）が主催する「第2回みんなですすめよう交通安全青森県キャラバン隊」が8月29日、もりた保育園（田中潔園長）を訪れ交通安全への意識を高めました。

はじめに坂本会長が福島市長に「県民一体となって活動し、交通安全意識の高揚を図ります」とメッセージを伝達。会場には動体視力測定や白バイ乗車コーナーなどが設けられ、衝撃体験コーナーでは、園児たちはシートベルト着用の大切さを実感していました。最後に、もりた保育園子ども交通指導隊が「交通ルールを守り、命を大切にすることを誓います」と元気に宣言しました。



つがる相撲クラブが全国少年少女武道優良団体表彰

つがる相撲クラブ（越後谷清彦監督）が8月5日、日本武道協会から全国少年少女武道優良団体表彰を受賞し、選手や関係者らが8月30日、福島市長へ報告に訪れました。

これは少年少女武道の普及振興に顕著な成果をあげた団体を表彰するもので、同クラブの全国大会での活躍や多年にわたる相撲の指導育成が評価されました。越後谷監督は「ここ数年のクラブや卒業生の活躍が評価され光栄です」と述べ、また、第31回東北学童相撲大会（8月19日、十和田市）で好成績を収めた同クラブの選手らも喜びを報告。福島市長は「今後もますますの活躍を期待します」と激励しました。



福島市長に報告するつがる相撲クラブのメンバー



全国大会で準優勝した小山内君(右)と福島市長

小山内剣太郎君が柔道全国大会で準優勝

全国小学生学年別柔道大会（8月26日、鹿児島市）の6年生50キログラム級で小山内剣太郎君（向陽小・五所川原柔道少年団）が準優勝の成績を収め、8月30日に福島市長へ報告しました。

小山内君は優勢勝ちで勝ち進み、決勝では地元鹿児島県代表の相手に惜しくも敗れましたが堂々の準優勝に輝きました。福島市長は「全国大会で準優勝とはよくやってくれた」と健闘をたたえ、小山内君は「あまり組ませてもらえず1本とれなかったのが残念。最初から最後まで攻め続けられるようこれからも練習に励みます」と力強く話していました。

命の尊さなど熱弁

第60回つがる市防犯弁論大会が9月5日、車力中学校で開かれ、市内5中学校から11人が出場し、学校生活や家族、友情などをテーマに自分の思いを発表しました。

審査の結果、1位に輝いたのは「オンリーワン」と題して発表した渋谷未来さん（木造中3年）。渋谷さんは、東日本大震災から1年について特集されたテレビ番組をきっかけに、命の尊さについて考え「人はたくさんの人からたくさんの愛情を受け取って幸せになるために生まれてきた」などと命の大切さについて熱弁を振りました。

2位には小野花菜さん（車力中2年）、3位には三橋瑠華さん（木造中3年）がそれぞれ選ばれました。



優勝した渋谷さん(中)と2位の小野さん(左)、3位の三橋さん



各部門で優勝した(右から)兼平さん、小寺さん、成田さん、渋谷君

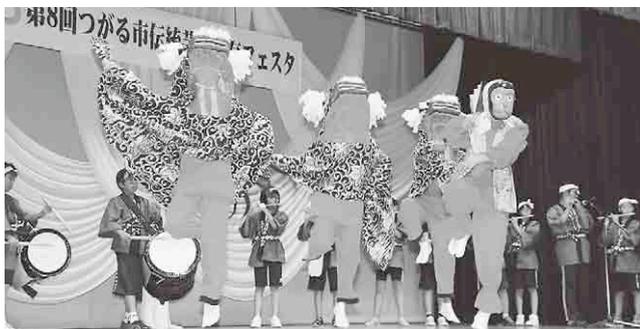
英語で堂々とスピーチ

第34回西つがる中学校英語弁論大会が9月4日、松の館で行われ、暗唱の部に27人、創作の部に9人が出場しました。

審査の結果、暗唱の部では、兼平美波さん（鱈ヶ沢中1年）、小寺実茄さん（車力中2年）、成田愛香さん（柏中3年）が、創作の部では渋谷公乙君（木造中3年）が1位に輝き、成田さんと渋谷君が平川市で開催される県大会に出場することになりました。成田さんは「今まで練習してきたことが発揮できた。県大会では表情を豊かにわかりやすく伝えたい」と、渋谷君は「野球部で仲間とともに学び、成長したことを話した。県大会では楽しみながら精一杯スピーチしたい」と抱負を話していました。

郷土の伝統芸能を継承

第8回つがる市伝統芸能保存フェスタ



三方荒神鹿島獅子保存会

240年以上前、鹿島神社で行った神樂が起源で、猿と鹿が川に橋を架け、森に上がって神社でお神樂を舞うという構成。育成小学校児童が伝統を継承している。



弥三郎節保存会

嫁いびりの内容をもった数え唄形式の民謡。約200年前、弥三郎の親の嫁いびりに耐えきれず、離縁することになった嫁が実家に帰る日、口から出るままに唄ったのが由来と言われている。



出野里獅子踊保存会

江戸時代初期（1680年代）、新田開発のために入植した武士たちが五穀豊穡と家内安全を願うために出野里の人々に伝えたのが始まり。3体の獅子が猿の化身である「お可笑」に導かれながら踊る。



元氣よく踊りを披露するもりた保育園の園児たち

つがる市伝統芸能フェスタが9月11日、柏ふるさと交流センターで開催され、約250人の市民らが郷土の伝統芸能を楽しみました。同フェスタは、伝統文化の振興を目的に市伝統芸能保存協会（七戸博道会長）が主催。市内6団体が出演したほか、もりた保育園の園児がホーハイ節に合わせた踊りなどを披露しました。



つがる市登山囃子保存会

毎年旧暦8月1日に行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事「お山参詣」のお囃子を笛、鉦、太鼓で演奏し五穀豊穡と家内安全を祈願する。



木造甚句保存会

4代藩主・津軽信政公が新田開発の拠点として設けた代官所で二十日盆に地元の人々が披露したのが始まりとされる。物不足の当時は「ボド」と呼ばれる普段着で踊っていた。



ホーハイ節保存会

高い裏声を張り上げて唄う森田地区の盆踊り唄。津軽民謡の中でも異色で、日本のヨーデルとも言われている。約430年前、津軽為信公が峠茶屋の娘とお婆さんを題材に即興で唄ったのが始まりとされている。

市民の皆様から寄せられたご意見



市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各支所、出張所（すまいるプラザ）に目安箱を設置しており、またホームページでもご意見を受け付けています。今回は平成24年8月に寄せられたご意見のうち、主なものをお知らせします。

主な意見	回 答 (担当課)
ごみ袋の大や中では、大きすぎて袋がもったいないときがあるので、小も作ってほしいです。	各家庭から排出されるごみの量をもとに、小さなおみ袋に対する需要がどの程度あるのか、一方では収集効率等の面からどのような影響があるのかも含めて、つがる市廃棄物減量等推進審議会などで検討させていただきます。(環境衛生課)
ひとり親家庭等医療費受給証は医療機関を受診する際には大変役だっておりますが、医療機関に対する「ひとり親」の告知は必要でしょうか。まだまだ世間はひとり親に偏見があるため、資格証からはひとり親の表示を外してほしいと思います。	この制度は、市が実施主体として行っている事業ですが、県が補助・指導し、資格証の様式なども県から示されております。全国的にも名称は「ひとり親」となっておりますので市単独で変更はできない状況です。 また、医療費助成制度もこのほかに「乳幼児」「子ども」「重度心身障害者」などもありますので「ひとり親」の名称を外すことになれば、医療機関で混乱することが予想されます。各医療機関においても仕事上で知り得た情報を他に漏らしてはならない「守秘義務」があり、個人情報の取り扱いには規定を定めるなど厳格に対処しているところです。 本件と同様の指摘・要望は何度か寄せられておりますので、県に対してこのような意見がありましたことを申し伝えます。(福祉課)
毎年馬ねぶたパレードを楽しみにしていますが、入賞する団体が同じだったり、主催・共催・後援・特別協賛といった関係者が多く入っていたりすることにがっかりします。	馬ねぶたパレードの各賞の審査につきましては、市関係者以外の方に審査委員を委嘱し、公正な審査を行っておりますのでご理解をお願いいたします。(商工観光課)

【問い合わせ先】総務課 電話42-2111 (内線347)

市内でソフトバンクの携帯電話をお持ちの方へ 災害情報を緊急速報メールで無料配信します

市では、ソフトバンクが提供する「緊急速報メール『災害・避難情報』」を活用し、各災害情報をソフトバンクの携帯電話を利用されている皆さんへ配信します。利用に際し、新たな費用や受信料金の負担はありません。また、事前にメールアドレスの登録も必要ありません。

配信範囲 つがる市内

配信情報 避難に関する情報、津波に関する情報、土砂災害警戒情報など緊急性が高い情報

受信設定 iPhoneの場合 ①設定を選択 ②通知を選択 ③緊急地震速報を「ON」

(iPhone以外の機種や不明な点などについては、携帯電話購入店やソフトバンクショップでご確認願います)

国・地方公共団体



送信内容

避難情報	土砂災害
津波情報	弾道ミサイル
噴火情報	その他…

SoftBank



対象エリアのお客さま



月額使用料・受信料：無料

※すでに、NTTドコモとauの携帯電話をお持ちの方にはエリアメールを配信しています。

※災害情報については、防災行政用無線を第1の手段とし、この緊急速報メールは、補助的に運用されます。

【問い合わせ先】総務課 電話42-2111 (内線345)